

学会参加報告書
日本機械学会 第 35 回バイオフィロンティア講演会

慶應義塾大学大学院 理工学研究科 総合デザイン工学専攻
小茂鳥研究室 修士 2 年 松寄 淳也

私は、2024 年 12 月 14 日～15 日に横浜国立大学で開催された、日本機械学会 第 35 回バイオフィロンティア講演会に参加し研究発表を行いました。本学会は、バイオエンジニアリングに関わる研究を行っている若手研究者および大学院生を中心としており、工学のみならず、臨床医学・歯学、理学、農学、獣医学にまたがる様々な研究に関する研究発表が行われました。

今回、私は再生医療工学・バイオマテリアルの口演セッションに参加し、「リユース可能な金属製スマート培養基材の開発」のタイトルで口頭発表を行いました。発表後には、3 名の方から温度応答性ポリマーや生成した細胞シート、作製した表面の細胞接着性についての質問やコメントをいただきました。今回いただいた質問やコメントをもとに、今後修士論文をまとめていきたいを考えております。また、他の研究者の方の発表で、チタン合金の意匠性、機械的性質に関する研究や細胞シートに関する研究などに触れることができ、良い経験となりました。

最後に、今回の発表の機会を与えて下さった小茂鳥先生、東京女子医科大学 秋山先生、東京大学 今城先生に御礼申し上げます。